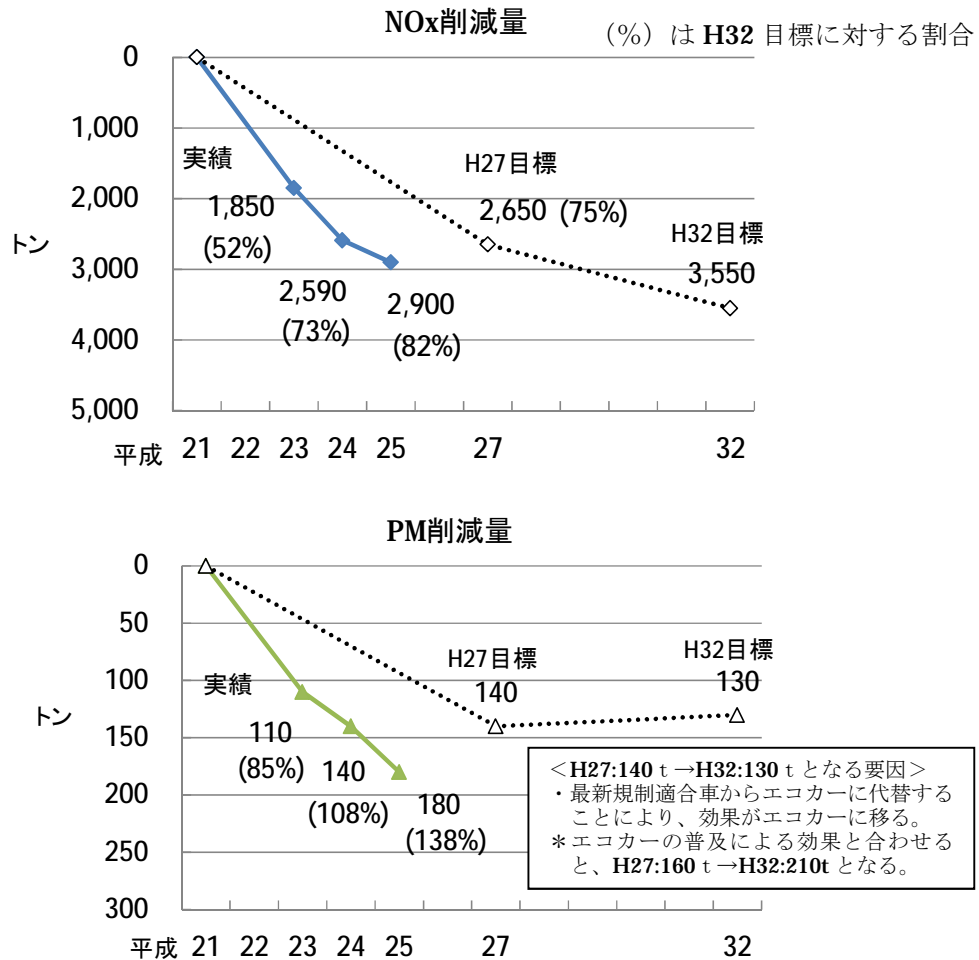


平成 25 年度における対策項目別の NOx・PM削減量と進捗状況について

1. 自動車単体規制の推進

(1) 項目別 NOx・PM削減量



(2) 項目別指標

○普通貨物車の新長期規制以上の割合

平成 27 年度 49%

平成 32 年度 65%

【実績】

平成 24 年度 39%

平成 25 年度 42%

(参考)

平成 21 年度 27%

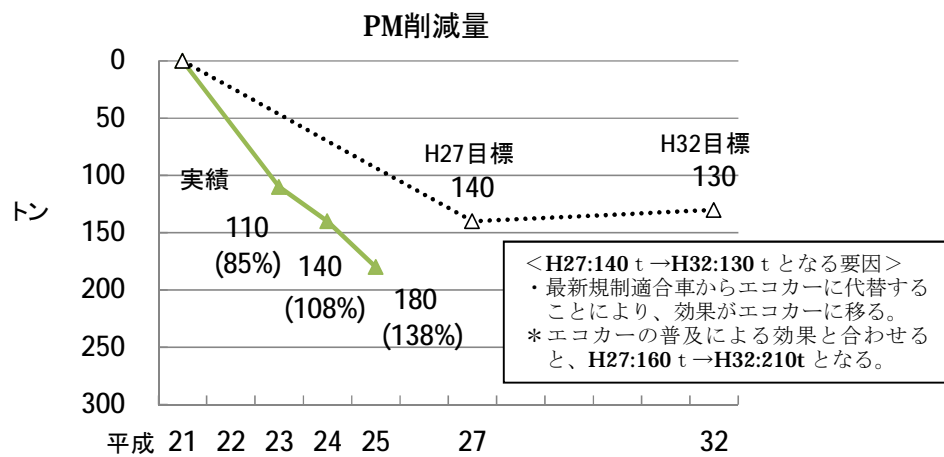
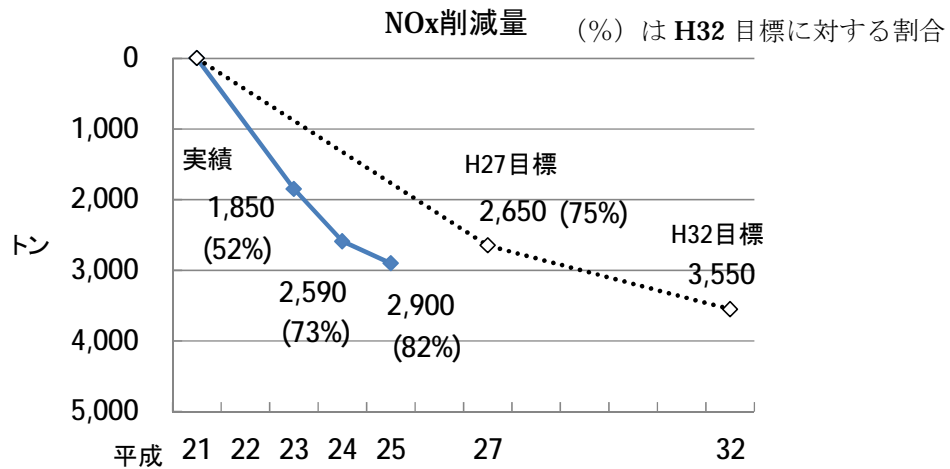
(3) 進捗状況

- 平成 25 年度の普通貨物車の規制適合車別構成割合では、新長期規制以上の適合車の割合が 42%であり、平成 27 年度指標 (49%) に向け、着実に進展している。一方、項目 1 と 2 の対策による NOx 及び PM の削減量については平成 27 年度目標 (NOx2,650 トン、PM40 トン) を達成。
- ポスト新長期規制適合車の割合についても、平成 25 年度は 9.4% (平成 24 年度は 5.7%) まで増加しており、最新規制適合車への代替が着実に進んでいる。(参考資料 4 P1)
- 車両の点検・整備の促進等による自動車単体規制の効果に加えて、車種規制の推進による対策地域内の自動車の代替、流入車規制による対策地域外の自動車の代替が促進されている。

2. 車種規制の実施等

(1) 項目別 NOx・PM削減量

1と同じ



(2) 項目別指標

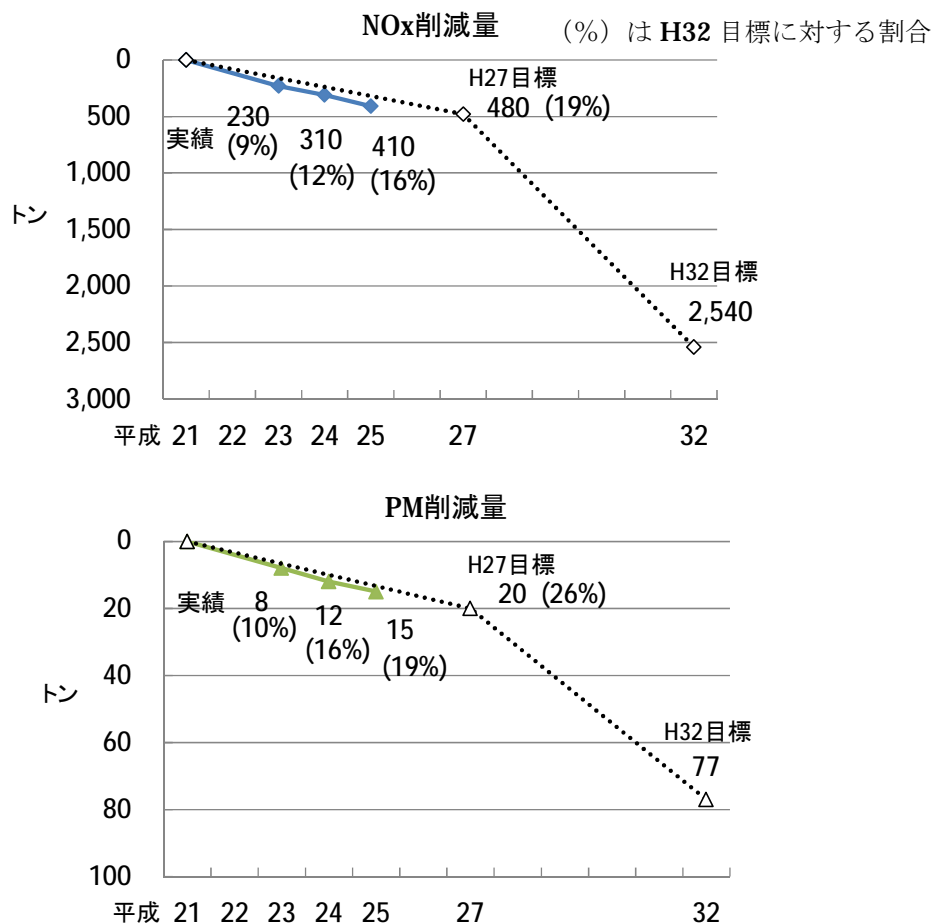
1に含む

(3) 進捗状況

- ・条例に基づく流入車規制において、対策地域外から流入する非適合車の割合は平成 25 年度では 0.8%であり、規制の効果が現れている。(参考資料 4 P4)
- ・流入車規制の実効性を高めるため立入検査を強化しており、事業所や工事現場等への立入検査・指導も計画的に行っている。
- ・また、平成 24 年度の条例改正により追加した使用義務違反を繰り返した者の氏名等公表の機会を捉え、全国レベルでトラック協会やバス協会、旅行業協会などの関係業界団体に積極的に周知し、旅行者や荷主等に規制への協力を求めている。

3. エコカーの普及促進

(1) 項目別 NOx・PM削減量



(2) 項目別指標

○平成 32 年度までにエコカーを 2 台に 1 台

平成 27 年度 69 万台 (20%)

平成 32 年度 179.5 万台 (51%)

【実績】

平成 24 年度 56 万台 (16%)

平成 25 年度 71 万台 (20%)

(参考)

平成 21 年度 18 万台 (5%)

(3) 進捗状況

- ・平成 25 年度における府域のエコカーの普及台数は 71 万台で、全体に占めるエコカーの割合は 20%であり、平成 27 年度指標 (20%) を達成。一方、NOx 及び PM の削減量は平成 27 年度目標 (NOx480 トン、PM20 トン) に向け着実に進展している。
- ・大阪エコカー協働普及サポートネットを活用し、国、府、市町村の行政機関だけでなく、自動車メーカー、ディーラー等の企業とも連携し、エコカー普及の取組みを官民協働で進めている。とりわけ、車両の代替に際して府民・事業者に対し、エコカーの導入を促すため、市町村等と連携しエコカーを気軽に体験する展示会や試乗会を実施している。
- ・また、電気自動車の充電インフラの整備促進や燃料電池自動車の普及促進等の取組みを実施している。

4. エコドライブの推進

(1) 項目別 NO_x・PM削減量

設定なし

(2) 項目別指標

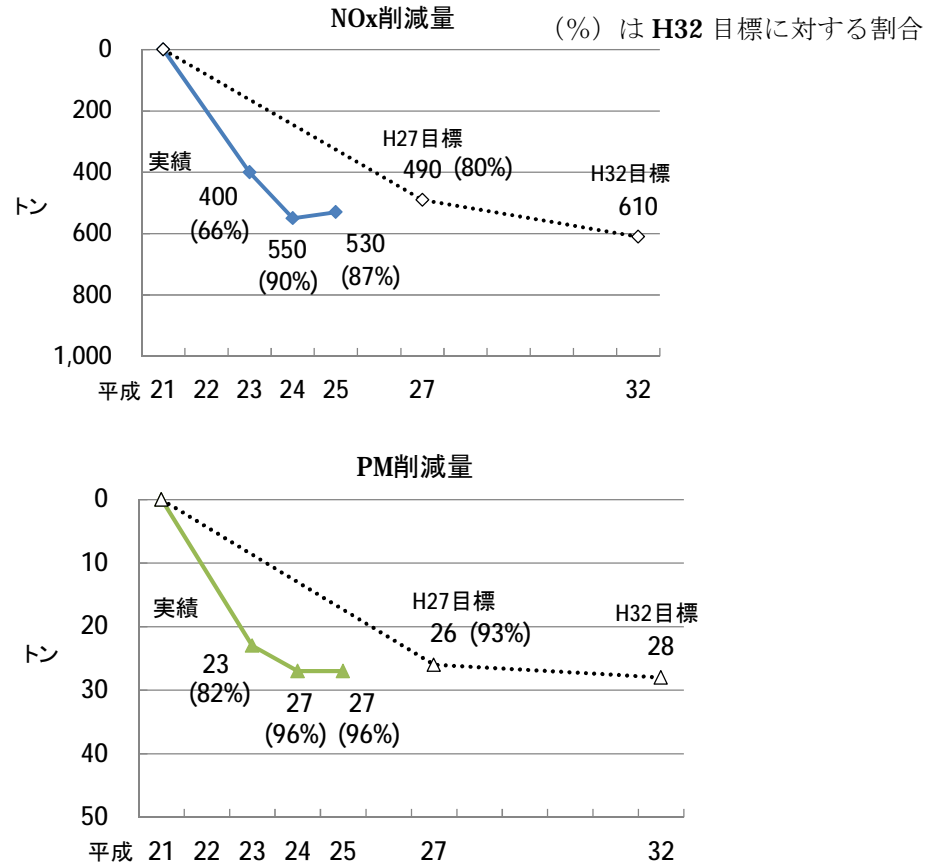
設定なし

(3) 進捗状況

- ・平成 25 年度は 8 団体（府、大阪市、堺市等）がエコドライブ講習会を実施しており、エコドライブの推進に向けた取組みを着実に実施している。

5. 交通需要の調整・低減

(1) 項目別 NOx・PM削減量



(2) 項目別指標

○H21年度の自動車走行量から

H27年度 3%削減 (27,750百万台キロ)

H32年度 4%削減 (27,560百万台キロ)

【実績】

H24年度 2.9%減少

(27,800百万台キロ)

H25年度 3.4%減少

(27,660百万台キロ)

(参考)

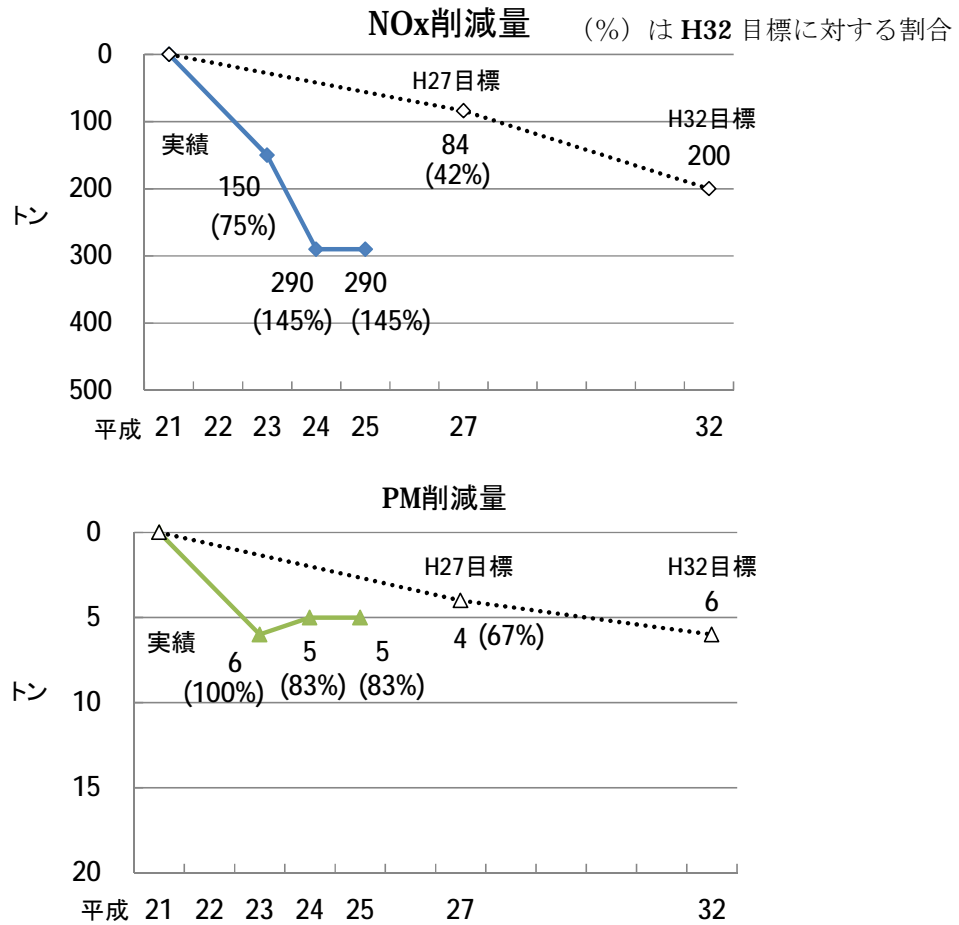
H21年度 28,620百万台キロ

(3) 進捗状況

- ・府対策地域内の自動車走行量については、H21年度からH25年度は3.4%減少し、平成27年度指標(3%削減)を計画よりも早期に達成。そのような結果は交通需要の調整・低減対策に加え景気動向等も影響すると考えられることから、今後さらに注視していく必要がある。また、NOx及びPMの削減量についても平成27年度目標(NOx490トン、PM26トン)を達成。
- ・おおさか東線(新大阪～久宝寺間)の整備や自転車道・歩道の整備等のインフラ整備や、バスロケーションシステムの整備等の公共交通機関の利便性の向上に資する取組みを着実に実施している。

6. 交通流対策

(1) 項目別 NOx・PM削減量



(2) 項目別指標

○H21年度の平均旅行速度から

H27年度 1.5 km/h 上昇 (39.9km/h)

H32年度 3 km/h 上昇 (41.4km/h)

【実績】

H24年度 2.6 km/h 上昇

(41.0km/h)

H25年度 2.7 km/h 上昇

(41.1km/h)

(参考)

H21年度 38.4km/h

(3) 進捗状況

- ・計画に基づく進行管理の指標としている府対策地域内の平均旅行速度については、H21年度からH25年度2.7km/h上昇し、平成27年度指標(1.5 km/h 上昇)を達成。また、NOx及びPMの削減量についても平成27年度目標(NOx 84トン、PM4トン)を達成。
- ・大阪市道高速道路淀川左岸線1期(此花区島屋～高見)(阪神高速)が開通した。
- ・また、バイパスの整備、高速道路の整備と合わせたアクセス道路の整備、道路と鉄道の立体交差事業等が着実に進められている。

7. 普及啓発活動

(1) 項目別 NOx・PM削減量

設定なし

(2) 項目別指標

設定なし

(3) 進捗状況

- ・大阪エコカー協働普及サポートネット等によるエコカーの普及に向けた展示・試乗会の開催や、環境に配慮した自動車使用等に関する環境学習の実施、メールマガジン、ホームページを通じた自動車環境情報の発信など、様々な取組みを着実に実施している。
- ・おおさか交通エコチャレンジ推進運動の取組みにおいて、優れた取組みを行った事業者を表彰し事例を提供することにより、事業者の自主的な取組みを促している。

8. 局地汚染対策

(1) 項目別 NOx・PM削減量

設定なし

(2) 項目別指標

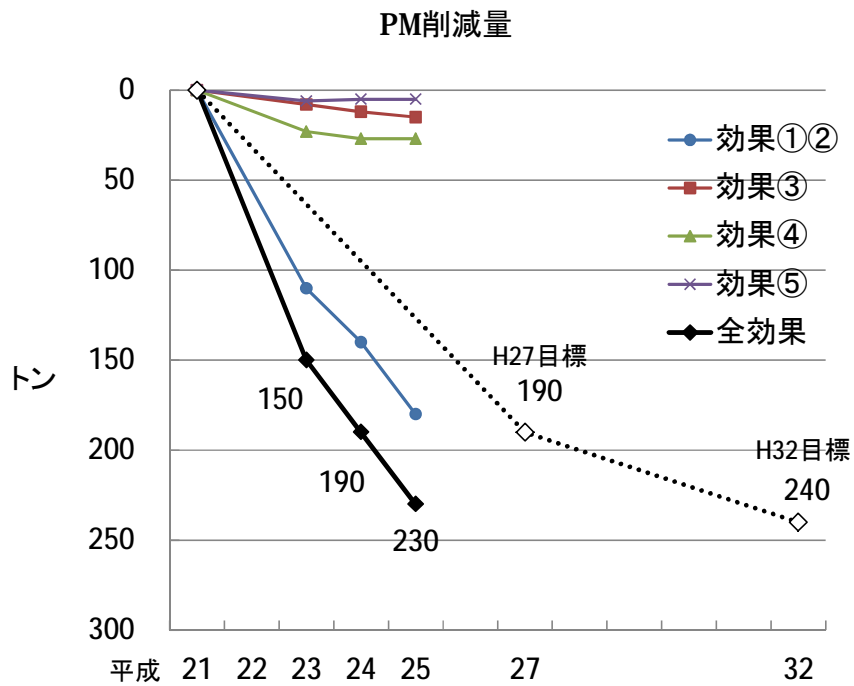
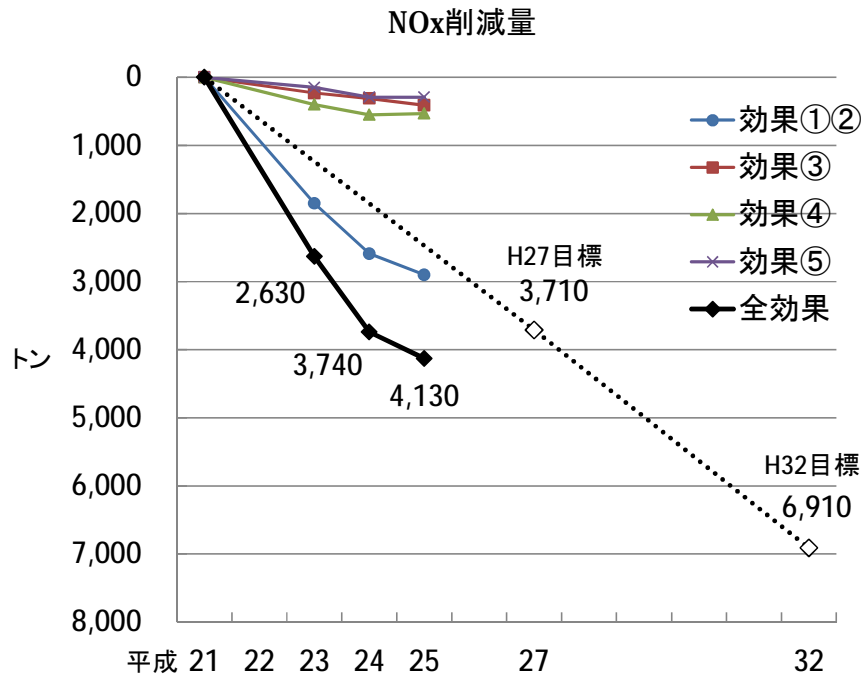
設定なし

(3) 進捗状況

- ・二酸化窒素高濃度予測地点において環境の状況を把握している。

対策全体

(1) 対策全体のNOx・PM削減量



- 効果①、② : 自動車単体規制の推進、車種規制の実施等による削減量
- 効果③ : エコカーの普及促進による削減量
- 効果④ : 交通需要の調整・低減による削減量
- 効果⑤ : 交通流対策による削減量
- 全効果 : 効果①～⑤の合計